

## 小学部2年生

タイトル
おもちゃランドをひらこう（生活）
ねらい
小学校：相手にゲームの面白さや遊び方をわかりやすく教え、みんなで遊ぶ楽しさに気づくことができる。 支援学校：身近にあるものを使って作ったおもちゃで遊んだり、ものの特徴を生かして工夫する面白さを実感したりすることができる。
内容
①本時のめあてをつかむ ②遊び方を説明したり、説明を聞いて遊んだりする。 ③体験を振り返り、日記にまとめる。
参加の工夫
友だちとのやりとりができていない時は、在籍校担任が間に入る。

タイトル
〇〇さんと給食交流をしよう（特活）
ねらい
小学校：食事のマナーを守り、支援学校児童と仲良く交流しながら楽しく食事をすることができる。 支援学校：居住地校の友だちと一緒に給食を食べることができる。
内容
給食を準備する際、支援学校児童が居住地校児童に箸を配る係を担当。
参加の工夫
交流前に座席配置等について打ち合わせをし決めておく。配膳から後片付けまで子どもたちが一緒にできるように声かけ等を行う。

タイトル
スカイプを使って交流しよう（特活）
ねらい
スカイプを通して、自分の気持ちを身体や表情で伝える
内容
スカイプをつなぎ、挨拶や会話をして近況の報告などを行った。
参加の工夫
次の交流で何をするかを確認する内容も取り入れ、交流に期待感を持てるようにした。

タイトル
ふれあいまつり（特活）
ねらい
小学校：子ども同士の触れ合いや活動を通して、障がいのある子どもたちへの理解を深め、相手を思う心を育てる。 支援学校：同世代の子どもたちと互いに尊重しあって対等な人間関係を築き、社会で共に生きていく力を身に付ける。
内容
合唱や合奏の発表
参加の工夫
合唱では「さんぽ」を手話で行い、合奏では「ミッキーマウスマーチ」を好きな楽器を使って演奏した。

タイトル
秋さがし（生活）
ねらい
身近な自然の中から秋を見つけようとする。 落ち葉や木の実を使って、友だちと楽しく遊ぼうとしている。
内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の敷地内にある秋を探す</li> <li>・見つけた秋について発表する</li> </ul>
参加の工夫
<p>どんぐりを教室に置き、子どもたちが関心を持てるようにする。</p> <p>どんぐりや紅葉する葉の種類を教室に掲示し、子どもたちがいつでも見るようにした。</p>

タイトル
みんなでゲームをしよう（特活）
ねらい
地域の同年代の友だちと一緒に楽しく活動する。
内容
<p>ボール運び</p> <p>なわとび</p> <p>リレー</p>
参加の工夫
車いすの生徒も一緒に参加できるようにルールや道具を事前に学年で話し合う。